

令和3年度四国森林管理局の 造林・生産事業について

令和3年3月9日
森林整備部



令和3年度 造林事業の概要

令和3年度の造林事業の全体量は、
翌債等を含め、令和2年度と同程度の事業量

1. 地拵・植付作業

- 地拵 224ha → 217ha(97%)
- 植付 261ha → 218ha(84%)

2. 保育作業

- 下刈 478ha → 557ha(117%)
- 除伐等 104ha → 102ha(98%)

3. 保育間伐

- 保育間伐（活用型含む）
2,483ha → 2,388ha（96%）見込

※（%）は前年度計画比



令和3年度の発注について

1. 繰越事業

- 翌債5件中、1件契約済み。（3件公告中）
- 令和2年度内の早期発注11件予定（3月中）

2. 早期発注の取組

- 全発注件数36件。内26件（72%）を第1四半期に発注（入札）予定。
- 第2四半期に7件を発注予定（併せて92%）

各署等の令和3年度造林事業入札予定

令和3年3月9日現在

署（所）名	物件 予定数	入札時期			
		第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期
徳島	0				
香川	6	5		1	
愛媛	5	2	2	1	
四万十	9	8		1	
嶺北	10	7	3		
高知中部	2	2			
安芸	4	2	2		
計	36	26	7	3	0

(注) 本予定情報は、令和3年度予算が成立し、予算示達がなされることを条件とするものであり、実際の発注工事が異なる場合や記載のない工事を発注する場合がある。



令和3年度の発注について

3. 一貫作業システム導入による発注

- 安定的な事業量の確保及び工期の拡大につながる誘導伐と植付作業等を一括して発注する「一括発注」や立木販売と植付作業等を一括して発注する「混合契約」を進める

4. 複数作業種の組合せ発注

- 保育間伐【活用型】と地拵・植付作業を一括発注することより一体的な整備を図る
- 安定的な事業量の確保等に繋がることから、引き続き複数の作業種との組合せを進める

5. 国庫債務負担行為（ゼロ国債）を活用した発注

- 閑散期の事業の確保を図るため、2力年度間の契約を発注

造林事業のトータルコスト低減の取組

1. 一貫作業システムの推進

- コンテナ苗を活用し、伐採・搬出作業と同時並行して地拵や植栽を行う一貫作業システムを推進する

■ 一貫作業システムと従来システム



<一貫作業システムのポイント>

- ・伐採後、高性能林業機械(プロセッサ、グラップル等)を活用し、集材作業中に枝条等の除去を実施。
- ・フォワーダや架線の帰り荷を活用し苗木を運搬。時期を選ばず植栽が可能なコンテナ苗を活用し、伐採後時間をおかずに植付を完了。
- ・一括発注により機械の搬送費や間接費の削減も可能。

■ 令和3年度の主伐・再造林一貫作業実施予定地区

	森林管理署	所在地	国有林名	面積 (ha)	備考
1	愛媛署	内子町	小田深山	3.25	一括発注
2	四万十署	三原村	栗畑山	9.30	一括発注
3	嶺北署	南国市	中ノ川山	4.68	一括発注
4	安芸署	馬路村	赤度山	4.60	一括発注



造林事業のトータルコスト低減の取組

2. 低密度植栽の取組

- 保安林等の制限林を除き、低密度植栽に取り組む
- 令和3年度：平均2,100本/ha（新植）
（令和2年度実績：2,127本/ha）
- 令和3年度も新植は全量コンテナ苗を予定



3. 下刈作業の省力化の取組

- 初回下刈の省略化
- 蜂刺され災害の防止、熱中症対策さらに誤伐の回避、労力軽減を図ることができる冬刈りを進める





令和3年度 生産事業の概要

令和3年度の生産事業量は、翌債・明許を含め、令和2年度より若干の増予定

1. 製品販売量・立木販売量

- 製品販売量 186,000m³
- 立木販売量 220,000m³

2. システム販売量（製品）

- システム販売量 130,000m³

3. 複数年契約（3署3地区）

- 3ヶ年契約 香川所 愛媛署
- 2ヶ年契約 安芸署



令和3年度 生産事業の取組

1. 事業発注の早期化
 - 令和3年度予定生産量（186,000m³）を上
半期に年間予定数量の8割を目標に契約発注
し、早期事業遂行を目指す
2. システム販売の取組み
民有林と連携して国有林材を需要者に安定供給
 - 令和3年度予定販売量の7割
 - 立木のシステム販売の推進
 - 民国連携の安定供給システム販売
(協調出荷)
3. 立木販売予定情報の公表
4. 立木販売と造林の混合契約の推進

令和3年度 生産事業の取組

5. 複数年契約による林業事業体の育成

- 令和3年度の複数年契約は、そのメリットを活かし、事業体の創意工夫を引き出すように、新たに3署3箇所を実施予定

■ 令和3年度の複数年契約実施予定地区(継続地区を含む)

	事業年度	森林管理署	所在地	国有林名	面積 (ha)	予定数量(m3)
1	H31~R3年度 (3ヶ年)	四万十署	四万十市	黒尊山	179	12,000
2	"	嶺北署	吾川郡いの町	奥南川山	79	8,000
3	R2~3年度 (2カ年)	愛媛署	喜多郡内子町	小田深山	45	4,400
4	"	四万十署	高岡郡四万十町	津賀ノ川山	83	7,000
5	R2~4年度 (3カ年)	嶺北署	吾川郡いの町	手箱山	69	7,100
6	"	高知中部署	香美市物部町	井地山	66	7,500
7	"	安芸署	室戸市佐喜浜町	大道南山	91	9,000
8	R3~4年度 (2カ年)	安芸署	安芸郡北川村	西谷山	51	6,800
9	R3~5年度 (3カ年)	香川所	仲多度郡まんのう町	八丁	67	5,000
10	"	愛媛署	上浮穴郡久万高原町	黒滝山	53	6,500

令和3年度 生産事業の取組

6. 生産性向上の取組

- 日報管理において各種作業の工程管理を実施。作業内容のボトルネックの洗い出しを行い、作業の効率化につなげる。事業体若手職員主体の現地勉強会を継続して実施。局主体の取り組みから各署（所）へ拡大普及。
- 生産性向上を目指した現地勉強会の開催



生産性向上の現地勉強会_大豊町の民有林

令和3年度 生産事業の取組

7. 民有林と連携して国有林材を需要者に安定供給

- 立木のシステム販売の推進
- 民国連携の安定供給システム販売（協調出荷）

■ 国有林材の安定供給システム販売の仕組み

